

縄文のうた

宮澤 雍徳（茅野市）

- 一 千古と仰ぐ ハヶ岳
緑の大地 広々と
ニツの国宝 目覚めたる
縄文の里 静かなり

- 二 走る獲物を 追いかけて
花咲く野山 駆け行けば
若者の汗 輝きて
縄文の唄 聞こえ来る

- 三 霧ヶ峰より 運び来て
矢尻造りし 小屋跡か
土の中から 光りたる
小さなカケラ 見付けたり

- 四 縄文付けし 壺や瓶(かめ)
かたち
形も豊かに進化して
宇宙の真理 秘めたるか
想いは深し 土器造り

- 五 踊れよ踊れ 輪になって
囲む焚火の シルエット

子供の姿も 浮び出て
縄文の夜は更けて行く

六 祈る祈る 静かに祈る

ひとひ
今日の一日に 感謝して
あす しあわせ
明日の 幸 願う時

小さなランプの 火が揺れる

小さなランプの 火が揺れる